## 石油備蓄の現況

平成21年12月石油精製備蓄課

- 1.我が国の現行石油備蓄制度は、<u>国家備蓄</u>と、「石油の備蓄の確保等に関する 法律」に基づく民間備蓄の二本立てとなっている。
- 2. 平成21年10月末現在の我が国の石油備蓄は、

<u>国家備蓄</u>	【製品換算】 <u>112日分</u> 4,807万kl (3.0億バレル)	【保有量】 原油 5,047万k1 (3.2億バレル) 製品 13万k1 (0.008億バレル)
<u>民間備蓄</u>	<u>87日分</u> 3,735万k1 ( 2.3億バレル)	原油 1,854万k1 ( 1.2億バレル) 製品 1,973万k1 ( 1.2億バレル)
<u>合 計</u>	<u>199日分</u> 8,542万kl ( 5.4億バレル)	合計 8,887万kl (5.6億バレル)

(注) 1 . 四捨五入のため内数と計は一致しないこともある。 2 . 備蓄日数は石油備蓄法に基づき、国内の石油消費量をもとに計 算しており、IEA(国際エネルギー機関)における備蓄日数 の計算方法とは異なる。

- 3.<u>国家備蓄</u>は、昭和53年度から開始し、昭和63年度に原油3,000万 k l に達した。さらに、昭和62年11月の総合エネルギー調査会石油審議会石油備蓄小委員会報告を踏まえて備蓄増強を進め、平成10年2月に原油5,000万 k l を達成した。
- 4. <u>民間備蓄</u>は、昭和50年度に石油備蓄法を制定(平成13年に「石油の備蓄の確保等に関する法律」に改正)し、石油精製業者、石油販売業者及び石油輸入業者に備蓄を義務づけており、備蓄義務量は平成5年度以降70日分となっている。

(参考)	石油体	備蓄の推移【製品換算 国家備蓄	算】  単位:万 k 民間備蓄	l 、 ( ) は日数 合
00/	40 🗆			
20年	10月	4,830 (98)	4,196 (85)	9,027 (183)
	11月	4,831 (99)	4,161 (85)	8,992 ( 1 8 4 )
	12月	4,832 (100)	4,003 (83)	8,834 (182)
21年	1月	4,831 ( 1 0 1 )	3,887 (81)	8,718 ( 1 8 2 )
	2月	4,831 (102)	3,869 (81)	8,700 (183)
	3 月	4,831 (102)	3,839 (81)	8,670 (184)
	4 月	4,816 (103)	3,792 (81)	8,608 (184)
	5 月	4,815 (105)	3,803 (83)	8,618 (189)
	6 月	4,805 (106)	3,799 (84)	8,604 (190)
	7月	4,796 (108)	3,735 (84)	8,531 (192)
	8月	4,795 ( 1 1 0 )	3,689 (84)	8,484 (194)
	9 月	4,794 (110)	3,759 (86)	8,553 (197)
	10月	4,807 (112)	3,735 (87)	8,542 (199)

## 我が国の石油備蓄の現状

平成21年10月末現在

石油備蓄

国家備蓄:5,047万kl(原油) 13万kl(製品)

(112日分)

国家備蓄基地 計:3,430万kl

民間借上タンク 計:1,630万kl

合計:199日分

民間備蓄:3,735万kl(製品換算)(87日分) < 我が国の国家石油備蓄基地 > 北海道共備 苫小牧東部 297万kl 543万kl 沖縄石油基地(OCC) 367万kl 秋田 むつ小川原 新潟共備 395万kl 495万kl Ð 87万kl 久慈 沖縄ターミナル(OTC) 昭和シェル・新潟東港 167万kl 127万kl 29万kl =菱商事小名浜石油 出光興産・徳山 28万kl 福井 西部石油・山口 13万kl 284万kl 鹿島石油・鹿島 131万kl 100万kl 白島 富士石油・袖ヶ浦 475万kl 47万kl 上五島 出光興産・千葉 342万kl 29万kl 串木野 出光興産・愛知 168万kl ジャパンエナジー・知多 44万kl 新日本石油基地・喜入 31万kl 新日石・大崎 238万kl 34万kl (出典)資源エネルギー庁作成 志布志 東燃ゼネラル・和歌山 菊間 上記地図は、国家備蓄原油の蔵置場所について記載し 421万kl 17万kl 139万kl たものである。